

2018年11月16日  
イオンディライト株式会社

「働きがい・やりがい」の創出により従業員エンゲージメントを向上  
**「第4回 働きやすさ追求活動 取組み発表会」を開催**  
国内外から代表チームが参加し、清掃業務における小集団活動の成果を発表



イオンディライト株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長 兼 社長執行役員:濱田和成、以下「当社」)は、2018年11月15日に東京ビッグサイトにて「第4回 働きやすさ追求活動 取組み発表会」(以下、「本発表会」)を開催しました。

「働きやすさ追求活動」とは、クリーンクルー(当社清掃スタッフの呼称)が日々の気づきや改善案を自発的に発信し、業務に反映できる風土の醸成を目的に2014年度より導入した現場単位の小集団活動です。2015年度からは毎年度、各現場の取組み成果を発表する場として、「働きやすさ追求活動 取組み発表会」を開催してきました。第4回となる今回は、当社グループが事業を展開する中国やアセアン各国を含めた国内外から各社を代表する計14チームが参加し、各々の取組み成果を発表しました。共に働く仲間を尊重し合いながら結束力を高めた取組みから、スマートフォン用アプリケーションを活用した業務効率化に至るまで色彩豊かな取組みの数々が披露されました。当社グループ各社の経営幹部、並びに社外専門家による審査の結果、当社 東北支社 秋田支店 秋田中央センター「ハビクリ!こまち」が最優秀賞に輝きました。同チームは大型商業施設において「みんなが幸せになる「清掃」」をスローガンに、働きやすい職場環境の形成や施設をご利用されるお客さまへの充実したホスピタリティの提供などに取組みました。



- 最優秀賞に輝いた「ハビクリ!こまち」の伊藤 晴美さん  
(当社 東北支社 秋田支店 秋田中央センター 清掃責任者)  
写真左 : プレゼンテーションの様子  
写真中央: 伊藤 清一 秋田支店長と受賞の喜びを分かち合う伊藤さん  
写真右 : 表彰式にて当社 代表取締役社長 濱田よりトロフィーを授与

本発表会に審査員としてご臨席された社外の皆さまからは、「会社から与えられたものに加え、従業員が主体的に取り組むことで、初めて働きやすさが生まれてくるのだと感じた」、「すべてのヒントは現場にあることを再認識させられた」、「ムリ・ムダ・ムラの削減のみならず、それが従業員満足となり、顧客満足へと繋がることを実感した。また、海外ではテクノロジーを駆使して清掃業務に取り組まれていることに関心をした」などの講評をいただきました。



- 最優秀賞に輝いた「ハピクリ!こまち」以外にも、娯楽施設において、清掃はもとよりお客さま（運営会社）とご利用者との架け橋となることで信頼関係を構築した事例や SLA（※）に対応した取り組み事例など、国内外から様々な取り組み成果が発表されました  
 ※SLA（Service Level Agreement）  
 清掃回数や人数といった仕様による契約ではなく、定量的な品質保証に基づく契約

現在、国内清掃業界では人手不足が深刻化しています。清掃事業会社にとって生産性を高めていくことが喫緊の課題となっています。こうした中、当社では、床清掃ロボットの開発、導入をはじめとしたテクノロジーの活用による省力化を進める一方で、クリーンクルーの自発的な貢献意欲を高め、能力を最大限に発揮できる職場環境の形成が生産性を高めるうえで最も重要だと考え、「働きやすさ追求活動」に継続的に取り組んできました。

当社では、引き続き、「働きやすさ追求活動」を通じて、従業員と会社が互いに貢献し成長し合える関係を築き、従業員エンゲージメントを高めてまいります。今後は「働きやすさ追求活動」の環を広げていくことにより、アジア各地で清掃業務に従事するクリーンクルーが「働きがい」や「やりがい」を持って、働くことができる職場づくりに努めてまいります。安全、安心はもとより、風通しのよい職場の形成により、クリーンクルーの意欲や活力を引き出すことで生産性の向上、並びにお客さまの期待を上回るサービスの提供を目指してまいります。



● 当社 代表取締役社長 濱田（前列中央）と各賞受賞者の皆さん

— 本リリースに関するお問い合わせ先 —  
 イオンディライト株式会社 ディライトコミュニケーション部  
 TEL: 03-6840-5712 FAX: 03-3524-8902